

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

10²⁰²⁵月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

CONTENTS



平安遷都 1100 年を記念して明治 28 (1895) 年に始まった時代祭は、今年 130 年を迎えます。10 月 22 日 (雨天順延) の行列に当財団も参加します。

- P1…京都への国際会議等開催・誘致状況
- P2…第 22 回 STS フォーラム公開シンポジウムについて
- P2…国際会議協会 (ICCA) 主催「ICCA Asia Pacific Business Events Youth Challenge2025」の審査員、「ICCA Asia Pacific EvolveDestination Forum」のパネリストとして参加しました。
- P2…助成金の下期受付開始について
- P3…「もうひとつの京都」での MICE 開催について
- P3…大阪・関西万博 オール京都の取り組み
- P3…開館 20 周年「京都迎賓館」について
- P4…第 5 回「古典の日文化基金賞」授賞式
- P4…第 17 回古典の日フォーラム
- P4…寛永行幸について

MICE 京都への国際会議等開催・誘致状況

2024 年に京都で開催された国際会議は、5 年ぶりに 200 件を超え、225 件 (京都全域) となりました。国際的な競争が激化する中で、弛まぬ誘致活動や、きめ細やかな助成金の運用など様々な取組が功を奏し、JNTO 基準における国際会議の開催件数は京都市域で 210 件 (前年より 38 件増)、市域を除く京都府域では 15 件 (前年より 6 件増) を記録しました。

当財団では、引き続き国際会議の誘致を継続しており、今年度も 10 月現在において、計 10 件の会議の誘致に成功しておりますので、お知らせいたします。

<本年度に誘致に成功した主な国際会議>

※ 誘致成功の会議のうち、公開可能なもの

学会名称	開催期間	総参加者数 (名)
第 16 回アジア太平洋歯周病学 16 th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting	2026 年 11 月 5 日 (木) ~ 6 日 (金)	400
iPS 20 th Anniversary Symposium 2026	2026 年 10 月 20 日 (火) ~ 22 日 (木)	500
Asian Conference on Innovative Therapies for Diabetes Management (ATTD-ASIA2026)	2026 年 12 月 9 日 (水) ~ 11 日 (金)	800
アジアパシフィック医学教育学会 Asia Pacific Medical Education Conference (APMEC2027)	2027 年 1 月 13 日 (水) ~ 16 日 (土)	1,200

The 37 th Anniversary World Congress on Biosensors	2027 年 5 月 18 日 (火) ~ 20 日 (木)	1,000
The International Society of Posture and Gait Research	2027 年 6 月 27 日 (日) ~ 7 月 1 日 (木)	600
Australian Society of Anaesthetists' National Scientific Congress	2027 年 9 月 21 日 (火) ~ 25 日 (土)	1,200
The 18 th International Congress on Systemic Lupus Erythematosus (LUPUS2029)	2029 年 5 月 30 日 (水) ~ 6 月 2 日 (土)	2,000

今後もこれまで培った誘致力を基に、京都府・京都市や会議施設、MICE 関連事業者と連携して、引き続き誘致を進めてまいります。

また、7 月号で紹介した「2024 年の京都で国際会議の開催状況」についても、統計等を取りまとめた冊子をご用意しておりますので、ご要望がございましたら、お気軽に当財団までお尋ねください。



2024
京都開催の国際会議
2024.1.1-2024.12.31

令和 7 年 6 月発行
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

令和7年10月5日から7日の3日間、国立京都国際会館で第22回「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STS フォーラム)」が開催されます。

このSTSフォーラム開催に先駆けて、当財団が、京都府、京都市、京都商工会議所とともに参画する「STSフォーラム支援京都実行委員会」では、「再エネとスタートアップが支える京都の未来」をテーマに、府民・市民の皆様が参加できる公開シンポジウムを令和7年10月4日に開催します。

本シンポジウムでは、豊田祐介氏（デジタルグリッド株式会社代表取締役社長 CEO）による基調講演に加え、大垣守可氏（株式会社大垣書店 取締役）、山本周雅氏（株式会社カタルシス 代表取締役）、モデレーターとして、杉岡秀紀氏（福知山公立大学 准教授）

によるパネルディスカッションを行います。

日時：令和7年10月4日（土）午後2時～午後4時40分

会場：京都経済センター 3階 KOIN

対象：京都府下にお住まいの方やテーマに興味のある方 等

参加費：無料

定員：80名



第22回 STS フォーラム 公開シンポジウム

再エネとスタートアップが支える
京都の未来

日時 2025年10月4日（土）14:00～
場所 京都経済センター3階 KOIN



国際会議協会 (ICCA) 主催「ICCA Asia Pacific Business Events Youth Challenge2025」の審査員、「ICCA Asia Pacific EvolveDestination Forum」のパネリストとして参加しました。

京都文化交流コンベンションビューローは、8月20日に、韓国・高揚市において開催された、国際会議協会 (ICCA) が主催する「The Asia Pacific Business Events Youth Challenge」の審査員、また、同21日に開催された「ICCA Asia Pacific Evolve Destination Forum」のパネリストとして招待され、当財団からMICE誘致推進課長が出席しました。

「The Asia Pacific Business Events Youth Challenge」では、事前に書類審査を通過した学生と若手社会人の計7ペアが出場し、模擬的に作成した国際会議の誘致提案書を基に、プレゼンテーションが行われました。

また、「ICCA Asia Pacific EvolveDestination Forum」では、当財団も参加しているアジア最大のMICE商談会「AIME」を主催するTalk2 Media & Events CEOのMatt Pearce氏等と共に、「未来の共創/MICE開催地が発展するための、MICE関係者

の役割と関係性」をテーマにディスカッションを行いました。

国際会議協会 (ICCA) は、アジアのみならず、世界のMICE関係者を束ねており、国際会議統計の発表や、MICE振興・若手育成のための多様な取り組みを世界中で行っています。京都が、審査員やパネリストなどとしてこうした取り組みに関与・貢献することは、当財団にとっても、京都のプレゼンス向上につながる貴重な機会です。今後もこのような機会に協力・参加してまいります。



パネルディスカッションの様子



Youth Challenge の出場者と審査員

助成金の下期受付開始について

当財団では、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都へのMICEの誘致・開催支援を目的とする各種助成金制度を設けております。そのうち、京都市MICE開催支援に係る助成金・補助金について、9月1日（月）から下期分の申請の受付を開始いたしました。

詳しくは当財団のホームページにて御確認ください。なお、既に多数の申請を頂いており、要件を満たしていても御利用頂けない場合も

ございますので、予め御了承ください。

申請を希望される場合は、以下のQRコードからホームページにアクセスして御申請ください。



当財団では、京都府からの補助金を財源とする助成金により、**京都府域「もうひとつの京都」へのMICE誘致・開催支援**を行っています。国際会議、企業ミーティングやインセンティブツアーの開催に加え、分科会やエクスカージョンの実施についても対象となるのが特徴です。今年度も既に多くご利用いただいておりますので、その一例を紹介します。

京都市からひと足延ばした「もうひとつの京都」でのMICE開催もぜひご検討ください。

※本助成金は予算の範囲内において年度単位(4月1日から翌年3月31日)で行っていますので、予算上限に達し次第受付終了となります。

【京都府 MICE 開催支援助成金を利用された MICE の例】

第 1 回世界長寿サミット

6月16日～19日、京都府丹後文化会館他で開催。百寿者(百歳以上の方)の割合が全国の3倍という丹後地域に世界各国の研究者や食の専門家が集い、「幸福で健康な長寿社会」の実現を目指して議論が行われました。



第 11 回 国際蛇紋岩生態学会議エクスカージョン

6月15日、蛇紋岩土壌(超塩基性土壌・超苦鉄質岩土壌)とそ

の地に形成される特殊な植生や固有植物などに関する国際会議の参加者による、福知山市大江山の蛇紋岩地帯と与謝野町の蛇紋岩を使った棚田での稲作の視察が行われました。



関西ウェルビーイング共創拠点バスツアー

6月23日、大阪・関西万博に関連して大阪で開催されたJapan Healthの参加者等が、けいはんな学研都市を訪れ、先進的な医療・ヘルスケア技術やオープンイノベーションの現場などの視察や交流が行われました。



バイオインタラクション研究会 第 29 回ワークショップ

6月27日～28日、けいはんなプラザにて開催。「宇宙と生命・タンパク質-未来に向けて-」をテーマに国内外から研究者が集い国際会議が開かれました。けいはんな万博の一環として開催され、一般公開講演も行われました。



本助成金については、こちらを御覧ください。
<https://meetkyoto.jp/ja/service/prefsubsidyhold/>



大阪・関西万博は盛況のうちに、10月13日に閉幕を迎えます。当財団が共同代表を務める「大阪・関西万博きょうと推進委員会」では、万博を契機として開幕前からオール京都で、京都の魅力を国内外へ発信してまいりました。今後も京都のさらなる発展に貢献できるよう取り組んでいきます。

【10月のイベント PICK UP】

- ・**関西パビリオン(万博会場内)「京都ゾーン」**～10月13日(月・祝)
「まるっと京都」京都市内を周遊するモデルコースや各エリアの観光資源の紹介など。
- ・**「KYOTO FOOD EXPO」**10月1日(水)～6日(月)お茶

の振舞いと食や日本酒のPRなど。

- ・**北野大茶会 ～きょうとまるごとお茶の博覧会グランドフィナーレ～**
10月11日(土)～13日(月・祝)
北野天満宮にて、茶道・煎茶道各流派による茶会や豊臣秀吉が行った「北野大茶湯」に関する展示、野点茶会など。
- ・**けいはんな万博 2025 閉会式** 10月11日(土)
けいはんなプラザにて、ポスト万博シティを目指す「けいはんな宣言」や同万博のハイライト動画の紹介、世界を結ぶ「けいはんな大合唱」ほか。



<https://expkyoto.jp/>

京都迎賓館は、平安建都1200年記念事業の一環としてオール京都で国に対して誘致を行い、2005年(平成17年)に京都御苑内に開館した国の迎賓施設です。当財団では、同館開館以来、京都府、京都市、京都商工会議所とともに同館支援4者として接遇のお手伝いのほか、一般公開や特別企画への協力、オリジナル記念品の企画・販売などを行ってきました。

今年4月に20周年を迎えた同館では、様々な記念の取り組みがなされています。

7月9日には、**関西領事団を招いた特別ツアー**が行われ、支援4者も運営協力しました。参加された約30名の在関西総領事や名誉総領事などの皆さんは、館内視察や日本舞踊の鑑賞を通じて、京都と京都迎賓館についての理解と関心を深められました。

一般公開については、約4か月ごとに部屋の展示替えをし、**年間を通じて特別なガイドツアーが実施**され、多くの方が参観に訪れています。また、一般公開終了後の時間帯には、**団体向けに「賓客体験ガイドツアー」などの貸切ツアーも実施**されており、グループでゆっくりと参観することができます。当財団が運営する**京都迎賓館記念品販売所**では、オリジナル記念品の一括注文も承っていますので、団体での参観申込時にもお気軽にご連絡ください(賛助会員優待あり)。



壁面装飾「愛宕夕照」と特別展示中の原画(夕映の間)



<https://hellokcb.or.jp/bunka/geihinan.php>



廊橋に施された透かし彫りのデザインをあしらった特別版記念符第2弾

文化発信 第5回「古典の日文化基金賞」授賞式

9月3日、第5回授賞式が開催されました。

「文学・思想」部門は、京都先端科学大学教授の山本淳子さん。文学作品や史料から平安時代を生きた人たちの思いを掘り起こすことを目指して研究や教育活動を進めてきました。「伝統芸能・音楽」部門は、木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一さん。歌舞伎の演目の研究を深め新しい表現世界の道を開き、古典芸能の魅力の再発信を果たしてきました。「美術・生活文化」部門は、写真家の中田昭さん。歴史・文学・有職故実等の研究を重ね、『源氏物語』をテーマに撮り続け、映像による古典文化の普及と啓発を続けてきました。若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」は、京都光華中学校/高等学校（伝統文化教育）、大阪府の能勢人形浄瑠璃鹿角座、長崎県のひよこの会童

謡合唱団に、それぞれ贈られました。

この賞は、次世代を担う若者たちを励ます賞に純化して「村田記念古典の日文化基金未来賞」に来年生まれ変わります。古典を学び継承し、古典の担い手となることを願っています。



受賞者の皆さん

文化発信 第17回古典の日フォーラム

ロームシアターを会場に11月1日の「古典の日」に開催します。より身近に古典に親しんでいただけるよう江戸時代の文化に着目し、直木賞作家の澤田瞳子さんの「花開く町人の文化」と題した講演と上方文化の華、文楽（人形浄瑠璃）の上演をお楽しみいただけます。司会は元NHKアナウンサーの三宅民夫さんです。また国民文化祭との連携では、長崎県の対馬に伝わる命婦の舞をご披露いただきます。

また、11月29日（土）には、第17回古典の日朗読コンテストの公開審査会を金剛能楽堂で開催します。



澤田瞳子さん
撮影・富本真之

文化発信 寛永行幸について

寛永3年（1626）9月、京都を舞台に歴史的な行事が繰り広げられました。後水尾天皇が徳川秀忠・家光の招きに応じ御所を出て二条城に5日間行幸しました。この行幸には、全国から多くの大名が参集し、徳川幕府の威信をかけた最上級のもてなしがなされました。戦国の世が終わり、平和な時代の到来を告げるとともに、階層を超えて育まれた「寛永文化」が花開くきっかけとなり、現代に繋がる日本文化に大きな影響を与えました。

来年400年の節目を迎えるにあたり、京都府、京都市、京都商工会議所、京都文化交流コンベンションビューローなどで構成

する寛永行幸四百年祭実行委員会を立ち上げ、行事を再現するイベントをはじめ様々な事業を実施します。



二条城